

令和6年度特定給食施設栄養報告書の集計結果について

下関市保健部生活衛生課

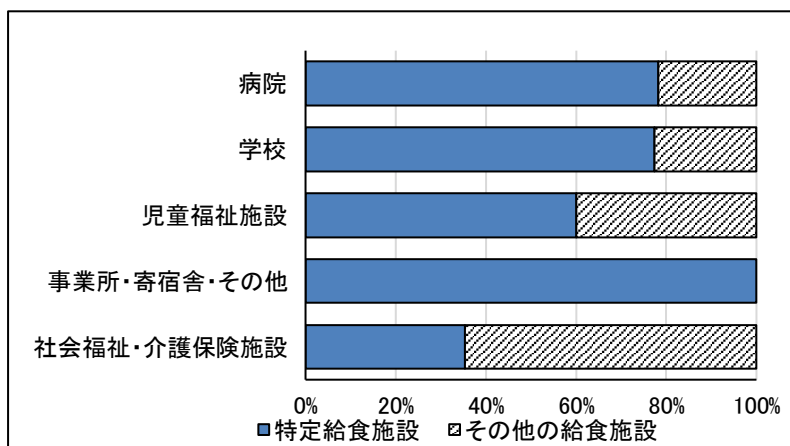
○ 集計対象施設: 下関市内の給食施設（特定かつ多数の者に対して継続的に食事を供給する施設）

報告書の種類	病 院	学 校	児童福祉施設	事業所・寄宿舍・その他	社会福祉・介護保険施設
施設数	23	31	65	2	96

○ 報告時期：令和6年5月

○ 集計結果

(1) 給食施設の分類(規模別)



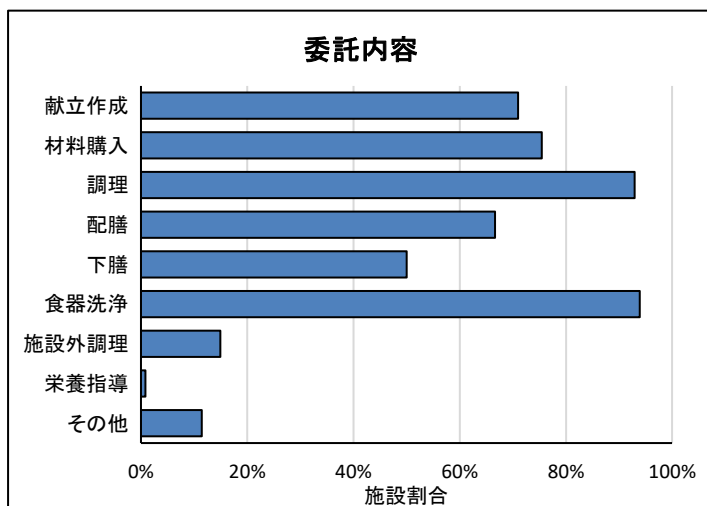
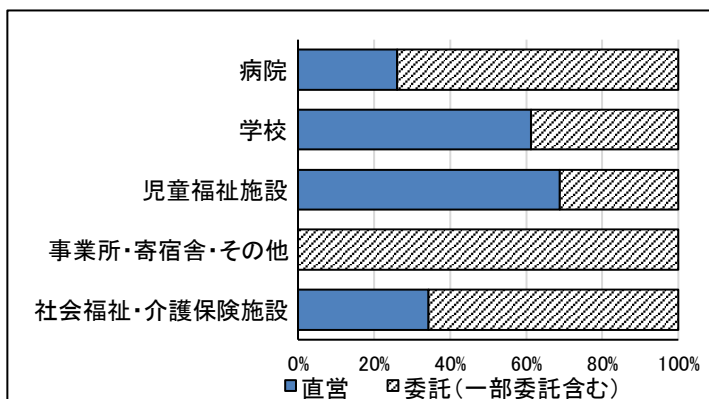
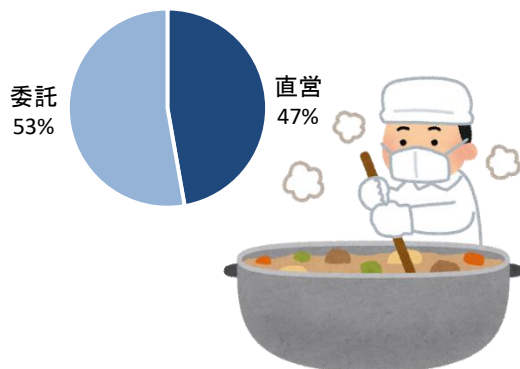
『特定給食施設』

給食施設(特定かつ多数の者に対して継続的に食事を提供する施設)のうち、1回100食以上又は1日250食以上の食事を提供する施設

『その他の給食施設』

特定給食施設以外の給食施設
(概ね1回50食以上又は1日100食以上の食事を提供する施設)

(2) 給食の運営方式

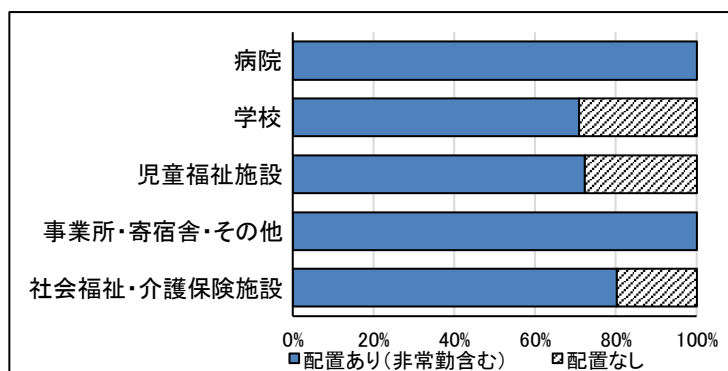
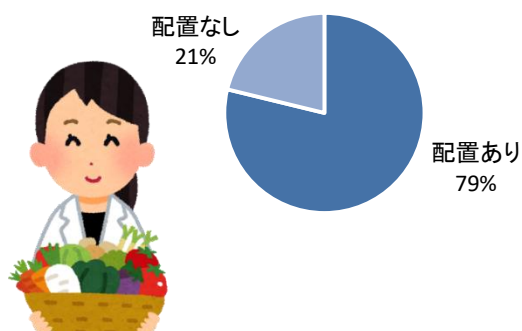


● 市内の給食施設の内、約半数がいずれかの給食業務を外部事業者に委託している。

● 委託している業務については、調理業務や食器洗浄業務、次いで材料購入、献立作成、配膳、下膳となっている。

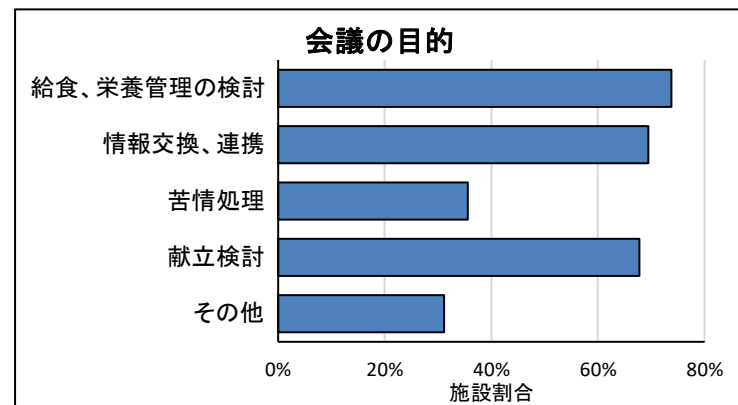
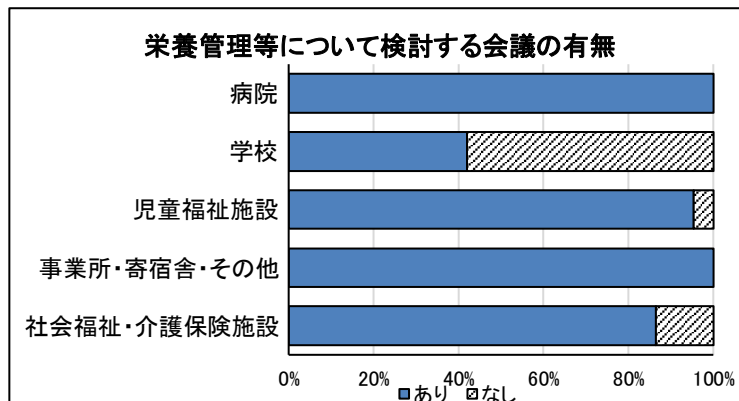
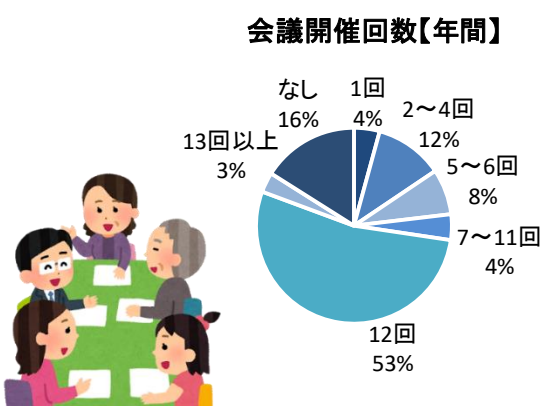
★ 給食業務を委託している場合でも、最終的な栄養管理の責任は施設側にあるので、委託事業者の業務の状況を定期的に確認し、必要な指示を行いましょう。

(3) 管理栄養士・栄養士の配置状況



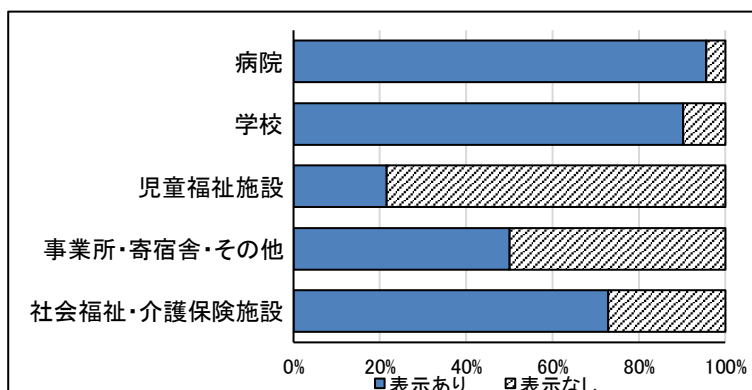
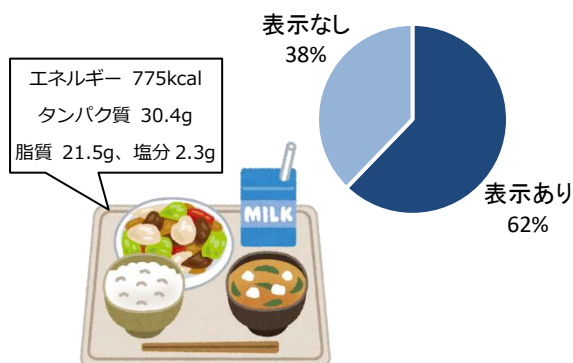
- 市内の給食施設の内、約2割の施設では管理栄養士や栄養士が配置されていない。
- ★適切な栄養管理ができるよう、管理栄養士や栄養士の配置に努めましょう。

(4) 栄養管理等について検討する会議



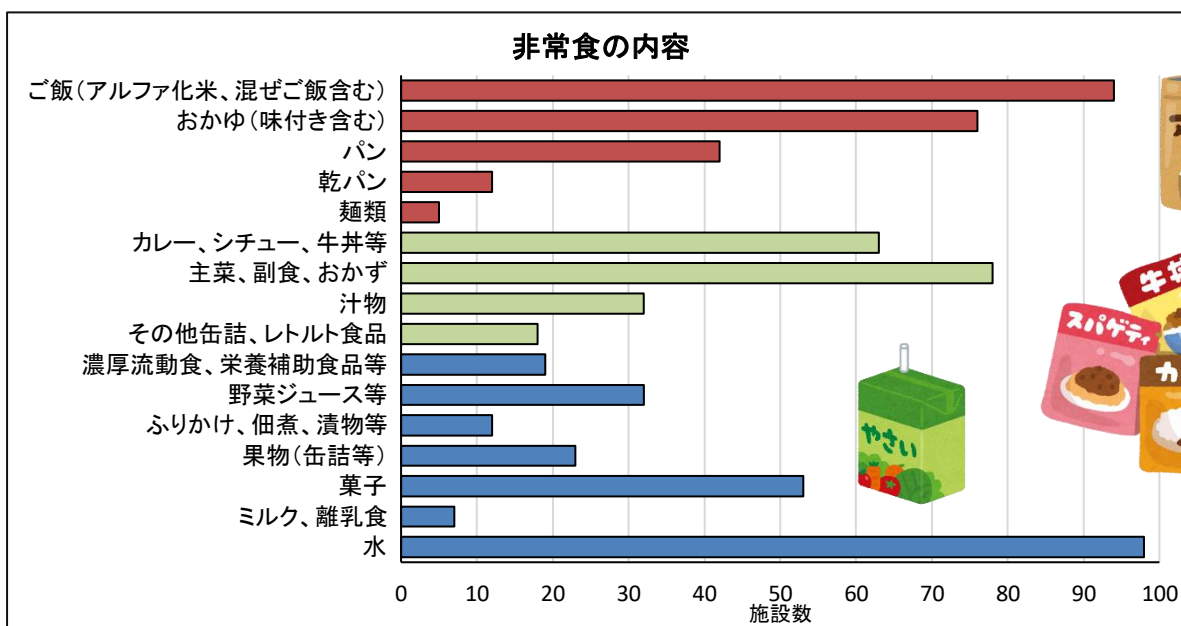
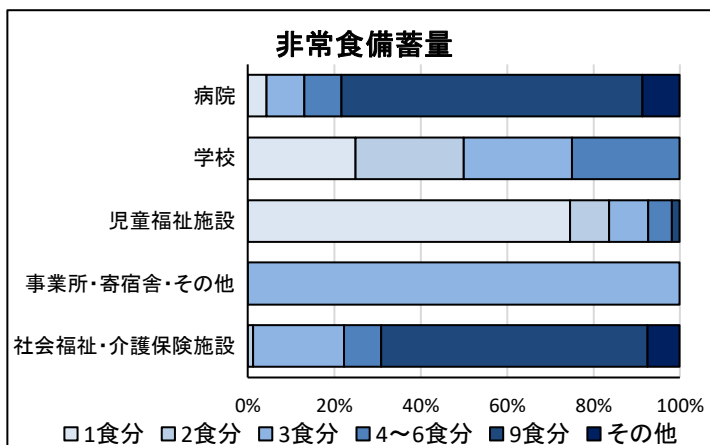
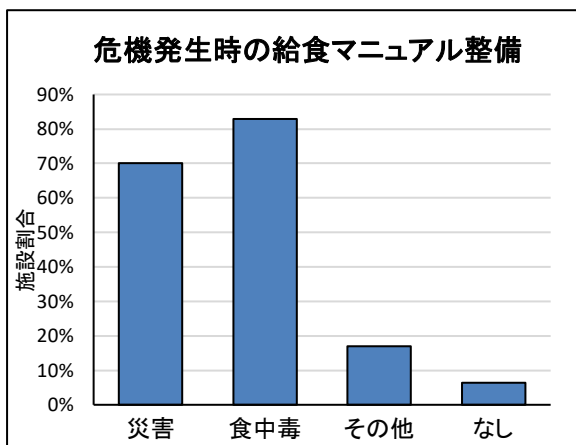
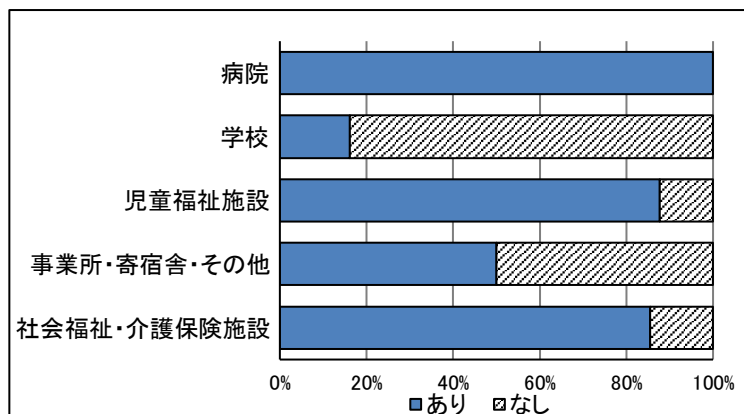
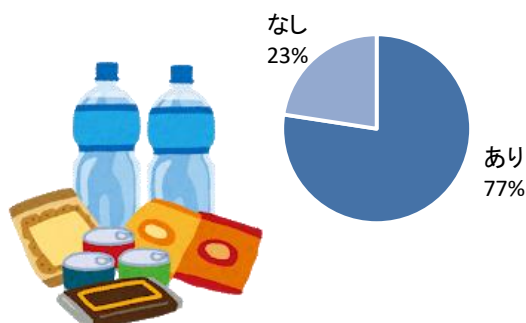
- 市内の給食施設の内、8割以上の施設で栄養管理、給食管理等に関する会議が開催されている。
- 約半数の施設は年間 12 回実施。会議の目的は給食、栄養管理についての検討、献立の検討、他部門との情報交換連携が多い。
- ★より良い給食提供のために、施設内で情報共有や意見交換をする機会を設けましょう。(会議以外の方法でも可)

(5) 献立表の栄養成分表示の有無



- 約6割の施設では給食の栄養成分表示がされているが、約4割の施設ではされていない。
- ★利用者に対し献立表の掲示とともに熱量、たんぱく質、脂質、食塩等の主要栄養成分の表示を行うなど、健康や栄養に関する情報の提供を行いましょう。

(6)非常食の整備の有無



- 市内の給食施設の内、約8割の施設で災害時等の非常食を整備している。
前年に比べ、非常食を整備している施設が増えており、特に保育園等の児童福祉施設が増加している。
- 災害時の給食マニュアルは7割の施設で整備されているが、非常食を整備している施設より少ない。
食中毒発生時のマニュアルは8割以上の施設で整備されている。
- 非常食の内容はご飯等の主食に加えて、カレーやレトルト(缶詰)等のおかずを用意している施設が前年より増加している。対象者の特性により、粥や濃厚流動食、乳児用ミルクや離乳食、アレルギー対応食を備蓄している施設もある。

★災害等発生時であっても栄養管理基準に沿った適切な栄養管理を行うため、平時から災害等発生時に備え、食料の備蓄や対応方法の整理など、体制の整備に努めましょう。また、定期的な見直しや食事提供訓練等を通じて改善していきましょう。